### 交通安全計画

# 事故のない安心の町に

ね

# 早急に交通安全計画を策定

工を望むべく、



ゃ の しょうぞう 矢野 昭三 議員

みをしているか。 われるが、予算獲得への 月に割り当てをすると思 町としてどの様な取り組 の取りまとめをするが 等の外郭施設復旧工事に 問 ついて、県は9月に県内 また、国は県に対し12 県管理港湾の鹿島南

ある歩行者に対して、

ま

車と比較して弱い立場に

道路交通における自動

德廣 情報防災課長

# 土居 海洋森林課長

また、 の聞き取りを行ってきた。 を密にし、漁業関係者へ 港湾海岸課との連絡協議 幡多土木事務所や県の 幡東水産振興会と 県議会に要望を重

持った、

人優先の交通安

全を確保する思いやりを

慮するとともに、

その安

子ども等の交通弱者に配

高齢者や障がい者、

組みを実施したい。

全思想を基本として取り

## 鹿島等の外郭

施設整備を

## 今月中に行う県への要望は

備に対する共通認識は持

ってくれていると思う。

県の予算獲得のために

か要望、

協議を重ね、

いく。担当課とは、

幾度

団体と共に要望を重ねて

題と認識しており、

関係

県への要望は重要な課

問

交通弱者に寄り添っ

た交通安全計画を策定し

ているか問う。

対策を問う。

# 消波ブロック 波を受ける鹿島沖の

餌畜養区域、 問 へ強い波が逆流して、 の航路内の漁港泊地や活 本設置されているが、こ 佐賀港には航路が2 排水口など

を更に強く進めていく。 の施設確認を行った。 て船舶により目視点検で 当該施設復旧の早期着 直近の施設把握とし 要望活動 をもたらしている。 船や活餌、 策計画の策定状況を問う 漁港泊地の排水口改善対 ない改善計画及び、佐賀 港湾の波を漁港へ入れ 住宅等へ被

### 要望の方法、方向性も協 議していきたい。 漁民の方々や漁協とは 土居 海洋森林課長

画を進めており、排水ポ 流において分水させる計 については、一定量を上 対策を想定している。 ンプによる流水量の減水 泊地内に流れ込む水量

町の力を注ぎたい。

でいきたい。 れば、 備実施が見込まれる。 年内に事業計画が定ま 早期の整備に取り組ん 来年度から一部整

### 流れ込む侵入波 (佐賀漁港)

### 森田 建設課長

訪れ歩道を利用される の把握に努め、 必要性を強く要望する。 歩道未整備区間の改修の 利用実態を含めた詳細 中村河川国道事務所 お遍路として当町 地域の方 を

### 56 歩道整備を

急げ

村河川国道事務所とも協 して利用頂けるよう、

中

方々が、より安全、

議を行っていきたい。

# 歩道を国に要望安全安心の

から現状をどの様に考え である。人命を守る立場 町に入ると歩道が未設置 ているか。 四万十町境から黒潮

ない。 あり、 賀町、 行き違うときは恐怖感が の構造には違いがある。 そして四万十町、 また、電動車の幅は70 電動車と大型車とが 現状の通路幅も70㎝ 旧大方町の歩道等 通路の利用が出来 旧佐

> 狭い側道を歩くお遍路さん (国道56号、 荷稲

【その他の質問事項】

自然環境について 行政のあり方につい 7

調査できないか。

通行の危険性を早期に